

人権の尊重	労働安全衛生の推進
人材育成	ダイバーシティの推進



執行役  
グループ経営本部 副本部長  
(兼)人材戦略部担当  
(兼)人事部担当  
(兼)総務部担当  
**川端 恭弘**

近年の急激な環境の変化に適応しながら、中期経営計画の基本方針である「新しい100年に向けて、事業構造の変革(Transformation)を加速するとともに、財務体質と組織体制を強化し、経営環境の変化にしなやかに対応できる企業体質を構築する」には組織と人材の変革が必要です。

そのためには、さまざまな社会課題を解決し社会価値、環境価値、経済価値の向上に取り組む組織風土を醸成し、働きがいをもって仕事に取り組める多様な人材を育成する必要があります。その実現を目指し、当社グループでは、ESG課題のひとつとして「豊かな人づくり」を掲げています。さらに「変革に挑戦する次世代を担う人材の確保」、「従業員の多様性を尊重した働きがいのある環境づくり」、「職場の学ぶ文化と育成する風土の醸成」、「安全・健康に働き活躍できる職場環境の実現」、「人権の尊重」を人材戦略の5つの柱とし、一つひとつ具体的な施策に着実に取り組んでいます。

## 人材戦略の5つの柱

### 1 変革に挑戦する次世代を担う人材の確保

当社グループでは、取り巻くさまざまな環境や従業員と企業の関係性が急激に変化する中、従業員一人ひとりが情熱を持って、自ら考え、自ら行動することを促す環境を整備することで「変革に挑戦する次世代を担う人材の確保」に取り組んでいます。

■ P.63「人材育成」

### 2 従業員の多様性を尊重した働きがいのある環境づくり

当社グループでは、国籍や人種、文化、性別、年齢、障がいの有無などにとらわれず、多様な価値観を尊重し認め合い、さまざまな人材が自由な発想でより良いアイデアを出し、能力を最大限発揮できる「従業員の多様性を尊重した働きがいのある環境づくり」に取り組んでいます。

■ P.65「ダイバーシティの推進」

### 3 職場の学ぶ文化と育成する風土の醸成

当社グループでは、新入社員からリーダーまで個々の適性やキャリアを踏まえた成長機会を提供するとともに、学ぶことは従業員自らの成長のために不可欠で個人の成長が会社の成長につながるとの認識を共有し「職場の学ぶ文化と育成する風土の醸成」に取り組んでいます。

■ P.63「人材育成」

### 4 安全・健康に働き活躍できる職場環境の実現

当社グループで働くすべての人の安全と健康の確保は、経営の基盤として、あらゆる事業活動に優先する最も大切な価値であり、この基本姿勢のもと、「安全・健康に働き活躍できる職場環境の実現」を目指しています。

■ P.66「労働安全衛生の推進」

### 5 人権の尊重

当社グループは、持続可能な社会に貢献し、社会に必要な企業であり続けるためには、「人権の尊重」に関する企業責任を果たすことが必要不可欠であると考えています。この考えのもと、あらゆる形態の人権侵害に加担しないことを定めるとともに、当社グループのすべての従業員が安全かつ快適に働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

■ P.67「人権の尊重」